

## 【令和4年度第1回農村振興施策検討委員会】

### 農山漁村なりわい課の令和4年度業務概要について

- 1 令和4年度の事業について 【P1】
- 2 令和4年度の施策体系概要について 【P2】
  - 令和のむらづくり推進事業 【P4】
  - 多様な人材の活用による地域づくりの推進  
について 【P5】
  - 農山漁村発イノベーション対策交付金事業 【P6】
  - 鳥獣害防止対策事業 【P8】



地域資源ペアリング商品「里山マリアー重」,「ちいき箱」

宮城県農政部農山漁村なりわい課



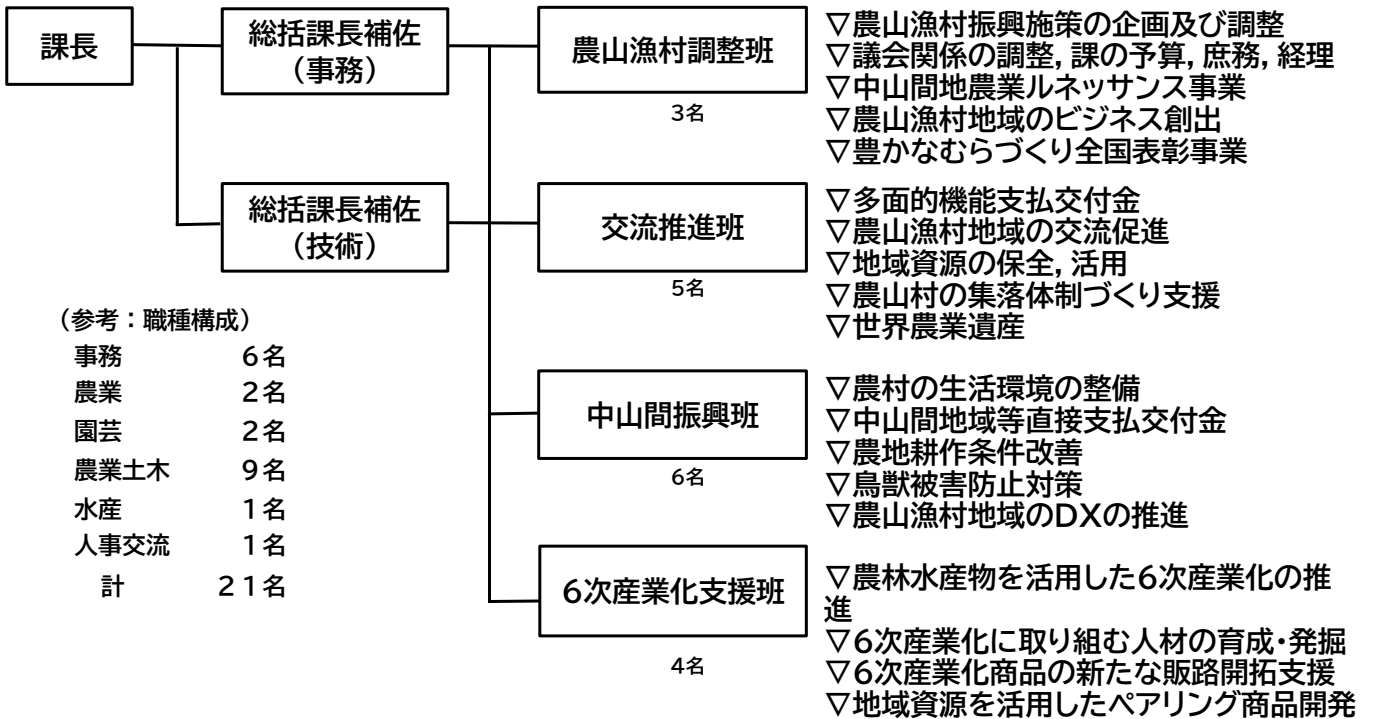
# 令和4年度の農山漁村なりわい課の事業について

## ◎課の目的

私たち農山漁村なりわい課は、人口減少や高齢化が進行する中で、農山漁村を維持し活性化するため、関係人口や移住希望者等に選ばれる持続可能な「活力ある農山漁村」の実現に向けた取組を推進していきます。

具体的には、地域を支える人材や関係人口の育成・拡大を図る取組とあわせて、これらの人材が持続的に地域と関わりが持てるように地域資源を生かした「なりわい」を創出し、雇用機会や所得の確保を図ります。また、野生鳥獣対策や農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るとともに、農山漁村地域において安全で安心した生活ができるよう環境整備や農山漁村地域におけるICTの導入・活用を進めます。

## ◎課の体制



## ◎主な事業

No.	担当班	事業名	事業概要
1	6次産業化支援班	農山漁村発イノベーション対策交付金事業	他分野との連携や新技術の活用等による新商品の開発促進等
2	交流推進班	令和のむらづくり推進事業(関係人口)	人材育成及び集落機能強化, 農山漁村地域の関係人口拡大推進
3	農山漁村調整班 6次産業化支援班	令和のむらづくり推進事業(地域資源ビジネス)	地域資源ビジネスの創出・展開, 地域資源を活用したペアリング商品開発
4	6次産業化支援班	地域資源・キャリア人材フル活用事業(6次産業化)	地域資源活用6次産業化支援, 農産物直売所の活性化支援
5	交流推進班	地域資源・キャリア人材フル活用事業(人材育成)	関係人口受入れ体制づくり支援, 地域コーディネート人材育成
6	中山間振興班	みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業	農山漁村DXの計画作成と推進体制整備
7	農山漁村調整班	中山間地農業ルネッサンス推進事業	中山間地域の農業振興の取組支援
8	中山間振興班	中山間地域等直接支払交付金事業	農業生産条件が不利な地域の生産条件を補正するための助成
9	交流推進班	むらまち交流拡大推進事業	都市と農山漁村地域の交流・農泊等の推進
10	中山間振興班	鳥獣害防止対策事業	野生鳥獣による農作物被害防止のための取組支援
11	中山間振興班	農村整備事業	農業集落排水施設等の強靱化等による農村の条件整備
12	交流推進班	みやぎの地域資源保全活用支援事業	農地や土地改良施設等の地域資源を活用した地域住民活動の支援
13	中山間振興班	農業集落排水整備推進交付金事業	農業集落排水施設維持管理補助(農業集落排水工事の県負担分)
14	中山間振興班	県営農道整備事業	高生産性農業を促進するための農道整備
15	中山間振興班	農村総合整備事業	農村集落の生活環境整備・農業生産基盤整備
16	中山間振興班	県営中山間地域総合整備事業	中山間地域の生産基盤・生活環境の整備
17	交流推進班	多面的機能支払事業	多面的機能の維持・発揮を図るための共同で行う活動支援
18	中山間振興班	農地耕作条件改善事業	高収益作物への転換等を図るための生産基盤整備
19	中山間振興班	農業水路等長寿命化・防災減災事業	用排水路の長寿命化対策
20	中山間振興班	中山間地域農地保全支援事業	中山間地域における小規模基盤整備(県単独事業)

# 令和4年度 農山漁村なりわい課 施策体系概要

(単位：千円)

事業名等	主な事業内容	予算額 R4当初	担当班
<b>I 豊かな地域資源を活かした産業振興と都市との交流拡大</b>		22,603	
<b>1 豊かな地域資源を活かした交流推進</b>		4,703	
①むらまち交流拡大推進事業	【委託料 2,911千円】農泊広域ネットワーク組織の設置、農泊に取り組む団体や農山漁家民宿等の情報をホームページ等により発信。 【事務費 1,792千円】圏域単位で実施する講演会・意見交換会・シンポジウム、都市農村交流アドバイザーの派遣等。	4,703	交流推進班
<b>2 交流（関係）人口拡大に向けた受入体制の整備</b>		17,900	
☆☆☆①令和のむらづくり推進事業（関係人口のうち、「農山漁村地域の関係人口の拡大推進」部分）	【委託料 10,000千円】▼地域団体や企業等の連携を促進するため、農山漁村交流拡大プラットフォームによる事業者マッチング（交流会、企業参画誘致等）を実施（5,200千円）。 ▼プラットフォーム事務局や地域への情報収集等を行う地域おこし協力隊1名を委嘱（4,800千円）。	10,000	交流推進班
◆◇②地域資源・キャリア人材フル活用事業（人材育成）	【報償費等 400千円】県職員地域コーディネーター人材の掘り起こし及び育成のための研修会等。 【補助金 3,000千円】農山漁村地域における農泊等の受入れ体制づくりの支援。 【委託料 4,500千円】都市部人材や企業との連携に必要な地域コーディネーター人材の育成。	7,900	交流推進班
<b>II 農山漁村地域を支える組織と人材の育成・確保</b>		2,499,346	
<b>1 農村地域の多面的機能の維持・発揮支援</b>		2,203,264	
①多面的機能支払交付金事業費	【交付金 2,188,334千円】地域の農業者等の活動組織が共同で行う多面的機能の維持・発揮を図る活動に対して交付金を交付。 【委託料 1,000千円】多面活動による地域への波及効果の検証。	2,190,264	交流推進班
②みやぎの地域資源保全活用支援事業	【委託料 7,500千円】地域資源調査や地域住民による話し合い、地域活性化の資料作成及び世界農業遺産の関連施設調査を実施。 【補助金 2,640千円】地域資源の保全活動を行う団体等に対する補助。 【事務費 2,860千円】ふるさと水と土指導員研修会、水土里フォトコンテストの開催等。	13,000	交流推進班
<b>2 中山間地域の農業生産体制維持支援</b>		286,924	
①中山間地域等直接支払交付金事業	【交付金等 264,528】農業生産条件が不利な中山間地域等の生産条件を補正し、農業生産活動の継続を支援するために交付金を交付する。	265,924	中山間振興班
②中山間地農業ルネッサンス推進事業	【委託料 8,271千円】中山間地域の再生・活性化を図る上で必要な地域経済循環調査・分析業務や棚田地域活動支援業務等を委託する。 【交付金 12,729千円】中山間地域における創意工夫あふれる取組を行う市町村に対して経費を助成する。 →令和3年度は、1市4町（大崎市、丸森町、松島町、加美町及び南三陸町）を予定。	21,000	農山漁村調整班
<b>3 農山漁村地域における集落機能の強化</b>		9,158	
☆☆☆①令和のむらづくり推進事業（関係人口のうち、「人材育成及び集落機能の強化」部分）	【委託料 8,009千円】▼集落における交流活動の企画・運営支援や人材育成研修等により、集落の自立的な体制整備やリーダーの育成を推進（8,565千円）。 ▼地域団体や組織等の要望（困りごと）に対して応援活動のマッチングを行う県特設サイトの利用促進を図り、援農ボランティア等のマッチングを支援（630千円）。	9,158	交流推進班
<b>III 「なりわい」の創出・支援による地域内経済循環の推進</b>		49,680	
<b>1 農林漁業者が主体となった6次産業化支援</b>		40,179	
①農山漁村発イノベーション対策交付金事業	【委託料 17,383千円】農山漁村発イノベーションサポートセンターの設置・運営、農山漁村イノベーションに取り組む人材等を育成するための研修会等を開催する。 【補助金 5,500千円】農林漁業者や市町村、民間事業者等による2次・3次産業と連携した加工・直売に係る商品開発や研究開発等の取組を支援。	23,000	6次産業化支援班
◆◇②地域資源・キャリア人材フル活用事業（6次産業化）	【事務費 2,381千円】地方振興事務所が農林水産物等多様な地域資源を活用した商品開発や販路開拓支援するほか、研修会等を開催 【補助金等 6,000千円】農林漁業者や移住者等が取り組む6次産業化を活用した創業等を支援。 【委託料 8,498千円】総合化事業計画認定事業者等の「新しい生活様式」に対応した商品開発等を支援するほか、計画策定に向けて伴走型支援を行う。また、開発商品の販路拡大やブラッシュアップ等を図るための展示販売会を開催する。 【委託料 2,000千円／補助金 1,500千円】農産物直売所を地域住民活動等の拠点とするため、現状分析や課題整理、課題解決に必要な設備等の改良や機器の整備に対して補助を行う。	17,179	6次産業化支援班

2 農山漁村地域資源ビジネスの創出		9,501	
☆ ★ ☆	①令和のむらづくり推進事業 (地域資源ビジネス)	【委託料 9,210千円】 ▼地域運営組織等を対象に、地域資源の掘り起こし・保全・磨き上げ・利活用、販売戦略の整備、情報発信ノウハウ等を支援(2,590千円)。 ▼農林漁業者等を対象に、地域食材と多様な地域資源によるペアリング商品・サービスの開発を支援。また、ペアリング商品をツールとしたモデルツアー等を実施(6,620千円)。	9,501 農山漁村調整班 6次産業化支援班
IV 安心して暮らせる農山漁村地域の生活環境づくり		1,630,773	
1 農山村地域の生活環境整備支援		945,737	
	①農村総合整備事業	【補助金 34,300千円】農村集落の生活環境整備と農業生産基盤整備を計画的かつ一体的に推進し、生産と生活の機能の高度化を図りながら、生産性の高い農業の育成と生活環境の改善を図る。	35,875 中山間振興班
	②農業集落排水整備推進交付金事業	【補助金 23,834千円】農業集落排水事業に係る維持管理経費及び起債の元利償還財源等として、事業完了年度の翌年度から最大7か年で交付する(従来建設事業費に対する県高上げ補助相当分)。	23,834 中山間振興班
	③鳥獣害防止対策事業	【補助金 491,088千円】被害防止計画を策定した市町村の地域協議会等に対して対策事業費を交付する。 【委託料 21,930千円】鳥獣Webマップの更新と被害対策を指導できる人材の育成、ICT活用による省力化実証試験、緩衝隊の管理に係る実証試験等を実施。	514,402 中山間振興班
	④農村整備事業	【補助金】農業集落排水施設等の保全対策、災害対策等の強靱化及び維持管理の効率化等を実施することにより、農村の持続性の向上を図る。	371,626 中山間振興班
2 生産基盤の整備支援		678,345	
	①農地耕作条件改善事業費	【補助金】農地中間管理事業の重点実施区域等において、きめ細かな生産基盤整備を実施し、農地の集積推進や高収益作物への転換を図るための計画策定、基盤整備等を実施する。	472,972 中山間振興班
	②県営中山間地域総合整備事業	【補助金】中山間地域の農業生産基盤及び生活環境基盤整備を総合的に行い、農業・農村の活性化を図る。	84,000 中山間振興班
	③中山間地域農地保全支援事業	【補助金】中山間地の国庫補助要件に満たない小規模農地の簡易基盤整備を行い営農継続を支援する。	3,000 中山間振興班
	④県営農道整備事業	【補助金】農業の振興を図る地域において農道網を整備することにより、高生産性農業を促進し、農業の近代化、農村環境の改善と強靱化を図る。	29,400 中山間振興班
	⑤農業水路等長寿命化・防災減災事業	【補助金】農業生産活動の基盤となる農業水利施設の長寿命化対策、省力化対策及び防災減災対策を実施する。	88,973 中山間振興班
3 農山漁村地域のデジタル化の推進		6,691	
	①みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業	【事務費 691千円】みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション(以下、DX)推進協議会の運営、研修会・セミナー等の開催。 【委託料 6,000千円】モデル市町村(地域)を2箇所設置し、地域の実情に合ったデジタル技術を活用したDX地域戦略計画を策定するとともに、活用に向けた地域住民等の理解と体制づくりを支援する。	6,691 中山間振興班
小 計 (I~IV)		4,202,402	
V 人件費・事務費等		139,700	
1 人件費		137,731	
2 事務費		1,969	
合 計		4,342,102	

# 令和のむらづくり推進事業の概要

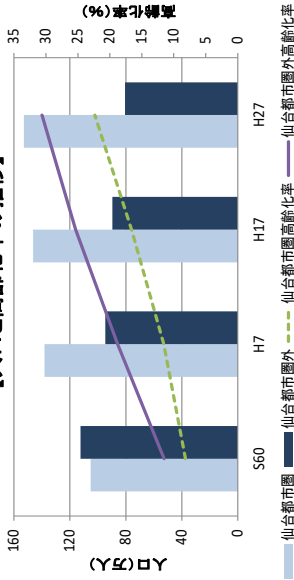
令和4年4月1日  
農山漁村なりわい課

## 現状・課題

(農山漁村地域)

- ・高齢化や人口減少の急激な進行
- ・耕作放棄地の増加、地域資源の遊休化
- ・共同活動の存続の危機、集落機能の低下
- ・誇りの空洞化(あきらめ感)の蔓延

【人口と高齢化率の推移】



## 解決方向

地域を支える多様な人材の育成・確保  
などにより農山漁村地域の活性化を図る

### ひと

・地域における人材育成(女性や若者の役割)と集落外人材の活用による体制整備

### もの

・地域資源の発掘や磨き上げによる地域ビジネスの創出やペアリリングによる商品開発

### こと

・交流の受入体制の整備によるインバウンド等の交流人口の拡大から地域との関係人口の拡大へ

## 対策と展開

令和のむらづくりの展開

### ひと



### こと

(成果) ・広域的な地域間連携 ・多様な人材の育成確保  
 ・地域ビジネスの創出 ・地域運営組織の法人化等  
 ・関係人口の拡大 ・多様な情報への対応 など  
 ・プラットフォームの自発的活動への展開 など  
 ・企業版ふるさと納税や副業人材の活用等検討

## 事業内容 (R4年度)

事業費 28,659千円 (国庫 11,888千円, 一財(真水) 11,971千円, 一財(特交) 4,800千円)

### 1 人材育成及び集落機能の強化 【9,158千円】

#### ひと

- (1) 集落における人材育成・体制整備 (集落における地域活動の企画・運営支援や人材育成研修等により, 集落の自立的な体制整備やリーダーの育成を推進)
- (2) 応援人材のマッチング (県特設サイト「みやぎ農山漁村応援マッチング」の管理, 運営を行うとともに, 認知度向上を目的としたWeb広告により, 援農ボランティア等の応募者を確保し, 住民による地域課題の解決に向けた自主的・主体的な取組を支援)

### 2 地域資源ビジネスの創出・展開 【9,501千円】

#### もの

- (1) 地域運営組織等によるビジネス創出 (地域資源の掘り起こし・保全・磨き・利活用, 販売戦略の整備, 情報発信等の支援等)
- (2) 地域資源ペアリリングの推進 (地域食材と多様な地域資源によるペアリリング商品・サービスの開発の支援等)

### 3 農山漁村地域の関係人口の拡大推進 【10,000千円】

#### こと

- (1) 農山漁村交流拡大プラットフォームによる事業者マッチング (地域団体や企業等の連携を促進するため, 研修会, 交流会, 企業参画誘致等を実施)
- (2) 地域おこし協力隊による運営支援<特別交付税措置> (プラットフォームの事務局や地域への情報収集等を行う地域おこし協力隊(1名)を委嘱)

農山漁村のなりわいの創造  
 ～住む人が誇りと生きがいを感じることができるむらづくり～

県内へ拡大

# 多様な人材の活用による地域づくりの推進について

農山漁村地域における担い手不足に対応するため、一般県民、企業、学生、県職員など、多様な人材を活用し、住民による地域課題の解決や地域資源の活用等に向けた自主的・主体的な取組を支援しています。

## 自立的・持続的な地域運営 農山漁村地域の活性化



ころ柿づくりボランティア（丸森町）

### 【一般県民・民間団体等】 地域貢献としての支援

#### ◆集落体制づくり支援事業

・集落の関係人口拡大に向けた交流活動や自立のためのリーダー育成

【R4計画：6地域（丸森町大張地区、栗原市蓬田地区、大崎市鬼首地区、村田町沼田地区、登米市沢田地区、気仙沼市落合地区）】

#### ◆みやぎの応援人材マッチング

・援農ボランティア活動等

【R4計画：専用Webサイトによるマッチングを実施】



大学生による田植え体験（丸森町）

### 【大学生】

#### 若者の視点や専門知識を活かした支援

#### ◆集落体制づくり支援事業（大学連携）

【R4計画：尚綱学院大学（栗原市蓬田地区）、石巻専修大学（登米市沢田地区）】

#### ◆みやぎINAKAゼミ（地域づくりサークル）

・大学生有志による学外ゼミ

【R4計画：交流会、棚田での農作業体験・彼岸花球根植え、古民家改修プロジェクト等】

### 多様な人材による 課題解決支援



### 【県庁みやぎのINAKA応援し隊】

#### 県職員の知識・経験等を活かした支援

#### ◆県職員パラレルキャリアモデル事業

・県職員による地域支援活動

【R4計画：「みやぎのINAKA応援し隊」結成、農村振興研修会、地域支援活動】

### 農山漁村地域



### 過疎化の進展・集落機能の更なる低下 (担い手不足・高齢化)



企業連携による写真教室（丸森町）



企業研修の様子（大崎市）

### 【企業】

#### 社会貢献活動などによる支援

#### ◆集落体制づくり支援事業（企業連携）

【R4計画：キャノマーケティングジャパン（株）との連携を調整中】

#### ◆都市農村交流マッチング（フィールドワーク等）

・企業との交流による関係人口の拡大

【R4計画：2地域予定】

# 農山漁村発イノベーションの推進

- 農山漁村の活用可能な**地域資源**を他分野と組み合わせること等により活用する「**農山漁村発イノベーション**」により、地域における**新たな事業・雇用機会を創出**（6次産業化を発展）。
- 農山漁村発イノベーションの推進に当たっては、農業以外の事業にも取り組む**農業者や事業者等多様な主体**が連携。
- **国・都道府県段階にサポートセンターを設置し、プランナーが支援を希望する多様な事業主体をサポート。**

## 農山漁村発イノベーション

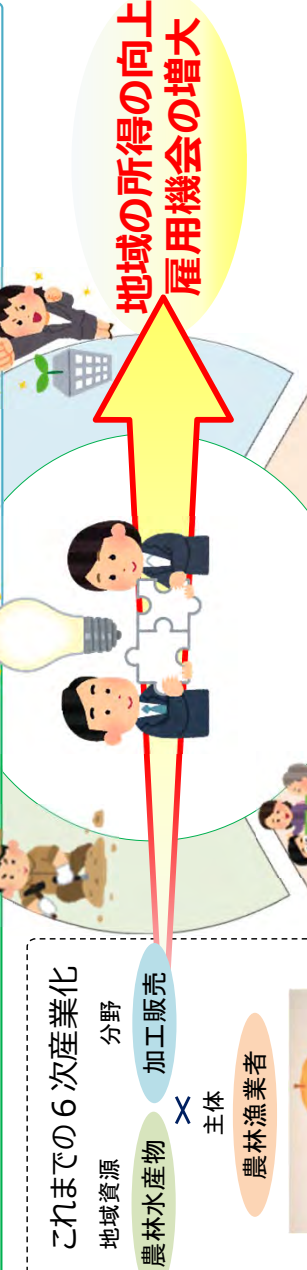
- 農山漁村のあらゆる**地域資源**をフル活用した取組を支援
- 他産業起点の取組など**他分野との連携**を一層促進

### 多様な農山漁村の地域資源

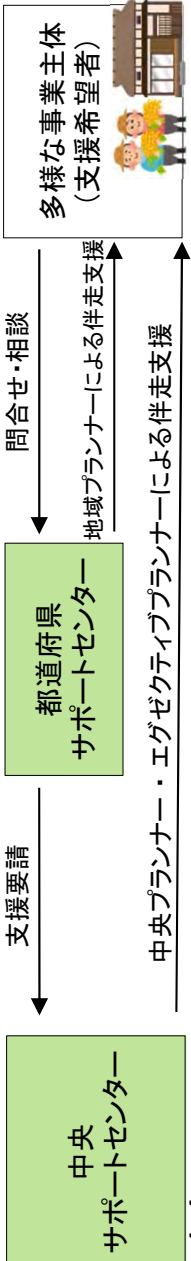
- 農林水産物
- 農林水産物
- 農業遺産
- かんがい施設遺産
- 歴史的建物
- 野生鳥獣
- 自然
- 古民家・空家
- 廃校
- 景観
- バイオマス
- 文化・歴史

### 多様な事業分野

- 加工販売
- 健康医療
- エネルギー
- 観光・旅行
- 福祉
- 教育
- スポーツ
- 情報通信
- 芸術
- イベント
- アウトドア



## 農山漁村発イノベーションサポートセンターによる支援



## 【農泊】 農業・文化 × 観光

- 農山漁村の活性化と所得向上を図る「**農泊**」の取組を推進し、「**令和2年までに農泊地域500地域創出**」の目標を達成

### 取組事例（宮城県蔵王町）

#### 概要

- **地域の農産物**を食として提供するほか、地元農家の**農業体験**や**文化体験**も取り入れて農泊を展開。
- まちづくり、観光物産協会、福祉施設、移住相談室など**多様な主体**が参画。

#### 成果

- 民泊宿泊者数は**9,560人増加**（約**2.9倍**）
- 地域全体の総売上高が約**1.0億円増加**（約**2.8倍**）。



## 【ジビエ】 野生鳥獣 × 加工販売

- ジビエ利用拡大の取組を推進し、「**ジビエ利用量を令和7年度までに倍増（4,000t）**」させる目標を設定

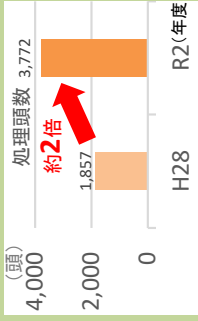
### 取組事例（鳥取県東部地区）

#### 概要

- 捕獲者を対象に、**ジビエ利用に適した捕獲技術を習得**するための研修を実施。
- 放血から2時間以内の個体は、原則全頭受入れ。
- 処理加工施設がない地域から、ジビエ専用回収車を用いて**広域回収する体制を構築**。

#### 成果

- 年間処理頭数が約**2倍**に増加。





農山漁村の維持・活性化と多様な地域資源を活用した新事業・付加価値創出の取組を促進するため、これまでの農林漁業者等による加工・販売分野への進出による6次産業化にとどまらない、他分野との連携や新技術の活用等による新商品の開発や、地域の魅力を発信できる移住者や若者等の「新しい発想のビジネス」など、小さくても強い・個性と魅力ある経営体を育成する。また、地域の活動拠点としての「農産物等直売所」の新たな役割と機能の強化を支援し、農山漁村地域における雇用機会の確保と所得の向上を図り、「なりわい」の創出を推進する。

芽づくり

- みやぎ地域資源の魅力発見活力向上対策事業 (県単) 【2,381千円】
- 各地方振興事務所が実施する6次産業化取組拡大のための「芽」づくり支援
- ・対象者：農林漁業者等



人材の育成

実践者(プレーヤー)育成	支援者(コーディネーター)育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>○農山漁村等イノベーション人材育成 (国庫) 【7,500千円】</li> <li>・対象者：農林漁業者等</li> <li>①市町村事業(500千円)</li> <li>②県事業(7,000千円)</li> <li>・6次産業化をはじめとする農山漁村発イノベーション戦略の検討・作成</li> <li>・2次,3次産業と連携や新商品開発・販路開拓等のノウハウ習得のための研修等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みやぎ地域資源の魅力発見活力向上対策事業(県単) 【2,281千円(再掲)】</li> <li>・対象者：県, 市町村等担当者</li> </ul> <p>地域資源を活用した商品企画や販売戦略, ブランド化, 知財管理等に関する情報やスキル習得等の研修会等の開催。</p>



6次化等の旗揚げ

商品開発, 試作研究, 商品化	6次産業化等新事業, 付加価値創出
<ul style="list-style-type: none"> <li>○農山漁村発イノベーション推進支援事業 (国庫) 【5,000千円】</li> <li>農林漁業者等が2次・3次産業と連携して商品開発, 農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を新分野で活用した商品・サービスの開発や研究開発等の取組を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みやぎ農山漁村スモールビジネス創出事業 (地方創生) 【4,800千円】</li> <li>農林漁業者や移住者等が取り組む6次産業化を活用した創業等を支援。</li> <li>事業計画策定支援や創業に必要な企画・器具等の導入に要する経費への補助。</li> <li>【助言指導】1事業者×2回</li> <li>【補助】3事業者(1,500千円/事業者)</li> </ul>



- ・総合化事業計画認定数 82件
- ・売上1億円以上 122経営体
- ・地域産業資源認定数 81件うち農林水産物27件

【新たな視点・強化すべき取組】

- ・農林水産物に限定しない**多様な地域資源**の活用と新事業
- ・食品製造業(2次), 観光業(3次)との積極的な**産業間連携**
- ・**多様な人材(移住者等)のアイデアとネットワーク**の活用
- ・**新生活様式への対応**(Web活用など)

○農山漁村発イノベーションサポート事業 (国庫) 【10,500千円】

○県サポートセンターの設置(委託事業)  
(対象者)  
6次産業化など農山漁村発イノベーションに取り組む農林漁業者等  
(内容)  
地域資源等を活用した商品開発「経営改善戦略」の策定, 支援を実施。  
目標：支援対象者の付加価値額を5年後に平均で1.5倍  
※付加価値額(経常利益+雇用労賃+減価償却費)

○みやぎ6次産業化イノベーション支援事業 (地方創生) 【6,498千円】

地域資源を活用した「小さくても強い事業体」の創業支援, 育成  
(対象者)  
総合化事業計画認定事業者, 認定取得希望者等)  
・「新しい生活様式」に対応した新たな商品開発等を支援  
・6次産業化等に取り組む農林漁業者等の計画策定の支援

6次化商品の提案・訴求

開発商品のブラッシュアップを図るための展示販売会を開催  
(対象者)  
6次産業化事業者(支援施策等を活用した事業者を中心に)  
・直接消費者に商品を説明, PRし, 売れる商品(支持される商品)にブラッシュアップを行う。

○農産物等直売所機能強化支援事業 (地方創生) 【3,500千円】

直売所の機能強化・魅力向上

農産物直売所の地域拠点化のためのIoT活用, 新生活様式への対応等を支援

- ・伴走型支援による現状分析, 経営課題の抽出, 改善提案, 指導助言
- ・施設改良, 機器整備等の補助
- 補助率：1/2以内 (上限1,500千円)

目標の姿  
数値目標

「賑わいのある農山漁村」「儲かる農林水産業」の実現！  
付加価値額を1.5倍に向上

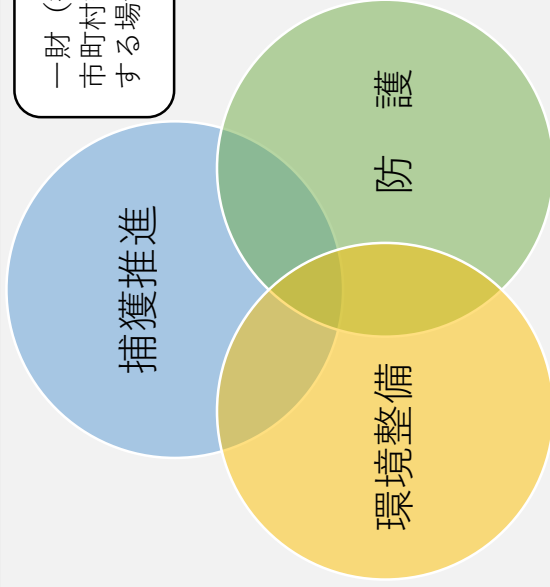
付加価値額=経常利益+人件費+減価償却費

地方発, 愛されるブランドづくり

「モノ」だけ売るのは無く, 「ヒト」も「地域」も売る!

市町村における被害防止計画に基づく対策  
(鳥獣被害対策の3本柱)

【R4：491,088千円】



一財(復興特交)については、市町村等が国庫内示減分を実施する場合に10/10以内補助する。

【捕獲推進】

- 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業
- ・野生鳥獣捕獲に係る経費の支援(頭数支払)
- 鳥獣被害防止総合支援事業
- ・民の購入、野生鳥獣の生息調査等に係る経費の支援

【環境整備】

- 鳥獣被害防止総合支援事業
- ・緩衝帯の整備、放任果樹除去等に係る経費の支援

【防護】

- 鳥獣被害防止総合支援事業
- ・侵入防止柵、処理加工施設の整備に係る経費の支援

県による支援

【R4：23,314千円】

- ・広域化する野生鳥獣による農作物被害に対応
- ・高齢化に伴う人材不足への対応

広域連携

- 地域連携会議
- ・各地振において地域での情報交換や対策の検討、研修会等を開催
- 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会
- ・宮城県、山形県、福島県の市町村等により構成され、ニホンザルの対策を実施
- 宮城・岩手シカ対策会議
- ・宮城県及び岩手県の市町村により構成され、ニホンジカの対策に係る情報交換等を実施
- 鳥獣webマップ
- ・各市町村の被害状況及び侵入防止柵の設置状況をマップ化

人材育成

- 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業
- ・集落等の地域住民による鳥獣被害対策の実施を支援
- 獣種別対策会議
- ・特定鳥獣保護管理計画を策定しているイノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ツキノワグマに係る情報交換や対策の検討、研修会等を開催

作業省力化

- 鳥獣被害対策緩衝帯実証試験
- ・山羊及び羊を活用した緩衝帯の管理に係る実証試験
- ICT活用による省力化実証試験
- ・ICTを活用した情報の共有化や捕獲作業の省力化を図るための実証実験

# 鳥獣被害防止対策について

## ○野生鳥獣による農作物被害状況

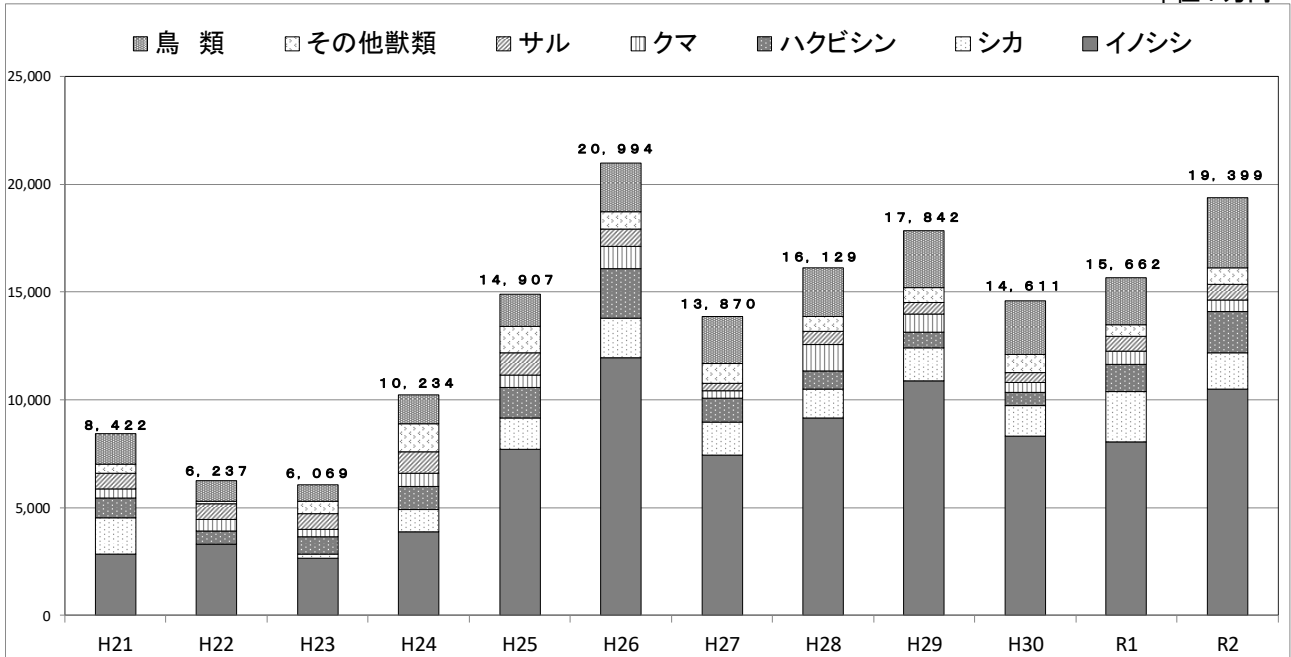
県内の野生鳥獣による農作物被害は、県南地域でイノシシによる被害が多く、気仙沼・石巻地域ではシカによる被害が多く見られます。東日本大震災後に被害が増大し、平成26年度にピークを迎えましたが、平成27年度以降は指定管理鳥獣捕獲で捕獲量が増加したこともあり、一旦大きく減少したものの、近年は増減を繰り返しており、令和2年度は令和元年度に引き続いて増加となっています。

野生鳥獣による農作物被害額の推移

(単位:万円)

	鳥 類	獣 類						計
		クマ	イノシシ	サル	シカ	ハクビシン	その他獣類	
H21	1,392	402	2,846	759	1,688	920	415	8,422
H22	945	539	3,318	697	-	614	124	6,237
H23	775	371	2,673	706	162	807	575	6,069
H24	1,342	600	3,876	999	1,019	1,100	1,298	10,234
H25	1,503	591	7,708	1,025	1,464	1,396	1,220	14,907
H26	2,248	1,032	11,963	814	1,846	2,290	802	20,994
H27	2,163	353	7,428	336	1,560	1,104	927	13,870
H28	2,249	1,231	9,157	628	1,346	829	688	16,129
H29	2,635	842	10,876	528	1,541	725	696	17,842
H30	2,494	430	8,328	455	1,394	643	868	14,611
R1	2,189	591	8,038	711	2,333	1,294	505	15,662
R2	3,270	553	10,492	712	1,702	1,906	764	19,399

単位:万円



野生鳥獣による農作物被害額の推移グラフ

## ○鳥獣被害防止総合対策交付金の推移について

宮城県では、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して、市町村・協議会が実施する有害捕獲に係る捕獲経費、わな等の購入や捕獲活動に係る経費、侵入防止柵等の施設整備に係る経費等へ補助を行い、被害防止活動を支援しています。交付金は年々増加しており、令和4年度予算額は平成30年度実績額の約3倍になっています。

鳥獣被害防止総合対策交付金の推移

単位:千円

	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 予算
推進事業	78,524	90,103	116,432	101,851	155,803
整備事業	83,439	44,763	143,832	208,050	335,285
合計	161,963	134,866	260,264	309,901	491,088

※県事業は除く

## ○令和3年度までの取組

### 1. 有害鳥獣捕獲の状況

(単位：頭・羽)

獣種	イノシシ	ニホンジカ	他獣類	鳥類	計
H29捕獲実績	5,734	2,264	547	8,623	17,168
うち緊急捕獲分	2,950	705	110	0	3,765
H30捕獲実績	6,948	2,239	639	8,113	17,939
うち緊急捕獲分	4,346	714	129	0	5,189
R1捕獲実績	8,192	2,866	1,166	7,675	19,779
うち緊急捕獲分	5,250	1,103	154	197	6,704
R2捕獲実績	8,468	4,096	1,540	6,838	20,942
うち緊急捕獲分	6,346	1,165	369	125	8,005

### 2. 侵入防止柵の設置状況

#### (1) 鳥獣被害防止総合対策交付金以外の活用状況（ハード事業のみ）

- ・東日本大震災農業生産対策交付金
  - 【2年度以降】 国要望額： 要望なし
  - 【元年度】 交付実績： 要望なし
  - 【30年度】 交付実績： 315千円（1市）
- ・中山間地域所得向上支援事業交付金（国補正事業）令和2年度で事業終期
  - 【2年度】 交付決定 44,374千円（1町）・・・R1補正
  - 【元年度】 交付決定 65,848千円（2市町）・・・H30補正

#### (2) 鳥獣被害防止総合対策交付金等により導入した侵入防止柵等の整備実績

年度	合計(m)		ワイヤーメッシュ柵(m)※		電気柵(m)※		その他(m)※		箱わな(基)
		うち鳥獣		うち鳥獣		うち鳥獣		うち鳥獣	
22年度	8,800	8,800	7,600	7,600	1,200	1,200			41
23年度	21,500	21,500	17,750	17,750	3,750	3,750			58
24年度	0	0							9
25年度	161,945	55,099	142,925	36,079	19,020	19,020			28
26年度	126,677	126,677	87,883	87,883	38,794	38,794			107
27年度	153,184	60,184	119,500	26,500	32,730	32,730	954	954	116
28年度	134,709	85,209	81,950	32,450	52,159	52,159	600	600	95
29年度	180,883	124,799	54,907	26,807	104,606	92,592	21,370	5,400	74
30年度	304,404	209,189	117,019	74,013	177,014	128,405	10,371	6,771	116
R元年度	181,915	123,383	68,598	28,608	98,469	88,302	14,848	6,473	144
R2年度	184,465	184,465	104,070	104,070	65,645	65,645	14,750	14,750	95
R3年度	207,025	207,025	122,710	122,710	70,290	70,290	14,025	14,025	144
計	1,665,507	1,206,330	924,912	564,470	663,677	592,887	76,918	48,973	1,027

※ワイヤーメッシュ柵、電気柵及びその他については、鳥獣被害防止総合対策交付金以外に東日本大震災農業生産対策交付金及び中山間地域所得向上支援事業を活用して設置している。

※H26は、H25国補正繰越分を含む

## ○令和4年度の主な取組

### 1. 県内の計画

令和4年度は、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して、イノシシ3,761頭、シカ3,498頭を緊急捕獲する計画であり、整備費は防護柵整備で延長219kmの設置、また減容化施設と食肉加工処理施設の建設を予定しています。

### 2. 大崎市の取組

大崎市では、捕獲後のイノシシ個体の処理について、ジビエ振興に向けた食肉加工処理施設、及び食肉以外のイノシシ個体の処理として減容化処理施設を建設する。

施設区分	建設予定	供用開始 予定	計画内容
食肉加工処理施設	令和4年	令和5年	計画処理頭数 イノシシ500頭
減容化処理施設	令和4年	令和5年	計画処理頭数 イノシシ1,500頭

### 3. 七ヶ宿町の取組

七ヶ宿町では、捕獲後のイノシシ個体を埋設処理してきたが、捕獲従事者の高齢化や人材不足等に伴い埋設手間の負担が大きくなり、捕獲活動に支障をきたしていることから、減容化処理施設を建設する。

施設区分	建設予定	供用開始 予定	計画内容
減容化処理施設	令和4年	令和5年	計画処理頭数 イノシシ500頭

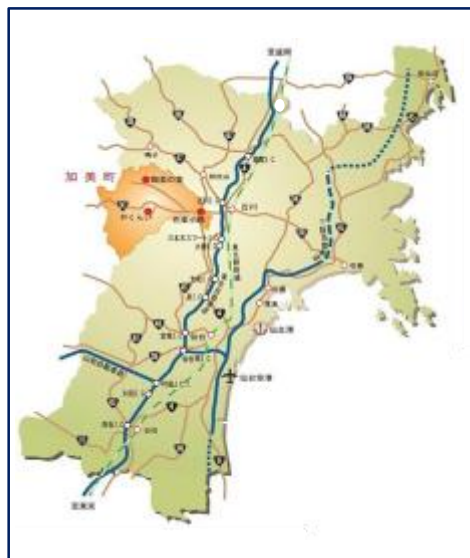
## ～集落ぐるみで取り組むイノシシ対策～

(取組主体名) 加美町原町行政区

(所在地) 宮城県加美郡加美町原町

### ■ 組織のプロフィール

- ・原町地区は仙台より北西45kmほどの奥羽山系の船形山東斜面に広がる加美町小野田にあり、世帯数は110戸の純農村集落である。
- ・この地区ではイノシシによる農作物の食害や畦畔の掘り返しなどの農作物被害が年々増加し、耕作者の耕作意欲も停滞気味であった。
- ・地区全戸で構成する行政区が県の集落ぐるみ鳥獣被害対策モデル事業の令和3年度モデル地区の指定を受け、集落ぐるみで対策に取り組んでいる。
- ・原町地区と隣接する味ヶ袋・東上野目・西上野目地区でも同様の被害が増加しており、連携しながら取り組んでいる。



### 1. 取組のきっかけ

- 県内のイノシシの生息域は、年々広がりを見せ、当地区のある県北部まで拡大し、農業被害が増加の一途をたどっている。
- 地区住民は個々に対応をとってきたが、被害への有効な対策までにはなっていなかった。そこで、住民の話し合いにより県集落ぐるみモデル事業の地区指定を受けて、集落ぐるみで効果的な被害防止対策に取り組むことになった。

### 2. 取組の内容と特徴

- 被害対策を実施するため、鳥獣害対策専門家からイノシシの生態や対策を学ぶ勉強会から取組み始めた。対策は広域的に行うと有効なことから、原町地区近隣の3地区とも連携して実施した。
- 『イノシシの特性と被害防止対策』と題した講演後に、地区の集落環境やイノシシの侵入経路などを専門家と住民が現場を歩きながら確認し合い、防護柵設置に向けた検討を行った。(第1回勉強会)
- 防護柵(ワイヤーメッシュ柵・電気柵)設置を行うため、まず、専門家から設置作業の実演後、それぞれの地区に別れ、設置作業を行った。専門家は作業現場を巡回指導した。(第2回勉強会)。
- 『環境整備と防護柵の維持管理』についての講演後に、地区ごとに別れ、集落環境診断マップ(第1版)の作成を行い、マップは各集会所に掲示・更新していくことになった。その後、防護柵を設置した現地で維持・管理方法について検討を行った。(第3回勉強会)



イノシシ対策の基礎知識を学ぶ  
(6月;第1回勉強会)

## 特徴

- ☆ 集落全戸が構成員の行政区が中心となり、集落ぐるみで勉強会や防護柵設置を行うなど地区住民参加型の取り組みである。なお、防護柵の資材購入には県鳥獣被害防止総合対策支援事業を活用し、設置は住民が自ら施工した。
- ☆ 原町地区に隣接する3地区(味ヶ袋・東上野目・西上野目地区)とも連携した勉強会の開催や地区間を連続した防護柵を設置することで、より高い鳥獣害の被害防止効果が得られている。
- ☆ 一つの囲いの中でも電気柵は頻繁に下草管理し易い所や農機の出入りする農道沿いなどに設置し、ワイヤーメッシュ柵は下草が管理しにくいヤブ等の山沿いや川沿いに設置するなど、防護柵の特徴を活かしながら2種類を組み合わせた。

## 3. 被害及び軽減程度

- 加美町の農作物被害は近年増加しており、特にイノシシによる被害が大きな割合を占めている。また、畦畔や畑の掘り返しへの修復労力により耕作者の負担感が増している。
- 1年間の取組評価として、耕作者からは、「防護柵設置後は被害が皆無になった、大幅に減った」との意見があり、集落ぐるみでの取組により大きな成果が得られた。



防護柵設置状況

実線：電気柵  
点線：ワイヤーメッシュ柵

## 4. 課題と今後の展望

- 防護柵の雑草対策、特に電気柵の頻繁な草刈りには多くの労力と注意力が必要となっている。  
→機械草刈りと除草剤の省力的な体系抑草で対応
- 捕獲はわな免許所持者が地区内にいないため、他地区の猟友会員に依存している。  
→わな免許の取得に向け事前講習の参加、免許取得費用助成制度活用(町協議会事業)
- 県事業は単年度事業であり、持続性のある鳥獣対策の活動が望まれる。  
→行政区や実践グループによる、合い言葉「鳥獣対策3ない運動」の展開  
鳥獣を“入れない(防止柵)”、“寄せない(環境改善)”、“増やさない(捕獲)”



防護柵設置方法の実演  
(8月;第2回勉強会)



集落環境診断マップ作成  
(11月;第3回勉強会)